よねだところどころ

ヨナダーが下米田・牧野の色々な見どころを紹介するよ

第三十三号

牧野の「箱岩」　ハコイワ

牧野にある奇岩

「箱岩」「はこいわ」と発音される。美濃帯堆積岩類からなる浸食された残欠で、岩が箱状に見えることから箱岩という地名になった。

「箱」は傾斜地・崖を表現する場合があり、「傾斜の強い場所にみられる岩」とも説明できるが、現実の地形等を観察すると前者の説明が妥当と思われる。

注　東栃井にも小地名として「箱」の使用例がある

「箱岩」の左手に馬串山がみえるが、そこは烏帽子岩とも呼ばれている。形が烏帽子に似ているのでそのような命名になったと理解される。形状が地名に由来するということになるのであろうか。　この付近は、古木曽川がこのあたりを浸食した結果の地形ということができる。

左地形図は市の情報システムによるものであるが、図中には、地名として「箕岩」とある。

「箕」はヒノキ等の板を曲げて円筒状にし、底を付けたものを指し、一般に「曲げ物」と呼ばれる。曲げ物は、昔の人の日常生活の中だけでなく、神事に置いて特別な使われ方をしており、近辺では木曽谷のものが著名である。

この漢字をどのような意味で使用したかを調べれば、この地の「箕岩」という地名を説明できる可能性が考えられる。　この漢字を使用した神社が九州にあり、箕崎宮と呼ばれるが、このお宮の解説によれば、「応神天皇」が産まれた際、へその緒と胎盤を「箕」に入れて埋めて祀ったとされたという説明がある。箕崎宮は応神天皇を祭神としているので、この「箕」という字をお宮名に使用したらしいということである。地名を使用漢字から推測することには問題が多いので、参考までに記すが、この「牧野箱岩」の周辺風景は「盆栽」のような形状であり、地元の人に古くから愛でられている。